

新年のご挨拶

皆様 あけましておめでとうございます。

コロナ禍の一日も早い終息と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

昨年は激動の1年でした。2月にロシアがウクライナに侵攻し、商品市況が急騰。商品市況高にコロナ禍からの需要回復が重なり、世界は物価高に見舞われました。欧米の中銀は急ピッチの利上げを余儀なくされ、株式市場で景気後退懸念が強まるとともに、外国為替市場では内外金利差拡大を背景に円安が進みました。12月には異次元緩和を続けてきた日銀が微修正を迫られるなど、日本株にとって厳しい1年であったと感じています。

世界経済は今、足踏み状態にあります。米国では物価上昇率が徐々に低下し、利上げの終着点が見えてきました。日本に目を向けると、経済再開が着実に進む中で外国人観光客が戻りつつあり、今年の経済成長率は欧米を上回る見通しです。年前半は欧米の景気後退懸念や国内政治の不安定化などが日本株の重石になりそうですが、年後半からは好転すると考えています。

相場格言によると、今年の干支「卯（ウサギ）」は「跳ねる」です。過去の卯年の日経平均株価は5勝1敗と良好でした。跳ねる前にはしゃがむことが必要です。日本株は昨年しゃがんだ分、今年は飛躍すると期待しています。

弊社は、今年で創立87周年を迎えます。これはひとえにお客様の永きにわたるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後とも、お客様の大切な資産運用の良き相談相手となれますよう、従業員一同「お客様満足度の向上」を最優先に、誠心誠意努力して参ります。また、お客様および従業員の安心・安全を第一に考え、社内外における感染症対策に取り組むとともに、お客さまへのサービス提供維持に努めて参りますので、今後もこれまでと変わらぬご愛顧とお引き立てを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和5年1月4日

代表取締役社長

鈴木 崇